

ジャノヒゲ

【 *Ophiopogon japonicus* 】

科名 キジカクシ科

属名 ジャノヒゲ属

薬効・用途

塊根（麦門冬 バクモンドウ）は、粘滑性消炎、止渴、滋養、強壮、鎮咳、去痰、利尿を目標に、麦門冬湯、釣藤散、滋陰降火湯、辛夷清肺湯、清心蓮子飲、滋陰至宝湯など多くの漢方方剤に配合される。民間では、咳き止め、去痰薬として感冒などに単独で用いられる。



・花期：7～8月

備考

常緑多年草。日本全国、東アジアからフィリピンの森林に広く分布する。和名は、細長い線形の葉を竜の髭（ひげ）に擬（たと）えたものというのが一般的であるが、「蛇の髭」（龍と混同された）で、細い葉をそのように見立てたという説がある。両性花。